

鈴鹿大井谷・沢ハイク 平成21年7月5日(日)

メンバー: I.D A.T R.T I.O、K.O(記) 天候:曇り

コースタイム:入渓(又川入り口)6:10～上部源流離溪 9:10～竜ヶ岳山頂(10:00-10:30)～石樽峠 11:05
～車デポ地 12:10

概要:久しぶりにIdさんも参加し、5名で入渓。前日は早い目に現地入り、竿を出すのが、当りはまったくなし。早い目に宴会となる。陽が沈み、ひんやりとした中、9時頃までおしゃべりして就寝する。翌日は4時半起床、軽く朝食を済ませ、石樽峠まで車のデポに行く。昨日の道路案内で、峠までは行けないとのこと。途中の通行止めのところに車をデポする。この辺りは、トンネル工事が進んでおり、ゆくゆくは峠までの道は廃道になるかも知れない。結局、帰りは約1時間、林道歩きをさせられた。

沢は全体に穏やかで、大きな滝もなく、殆どの滝はノーロープで越えていくことができた。一ヶ所だけロープを使用。さらに植林もなく、広葉樹が広がり、明るい自然美あふれる沢であった。しかも、源流部から竜ヶ岳までの歩く行程が、理想的な配置構成となっていた。ブッシュ漕ぎといっても、腰までの低い笹の原、シカの獣道がしっかり付いているため、藪漕ぎはまったく問題なし。稜線の縦走路も見通しよく、「沢から源流、そして山頂へ」のすべてがバランスよく配置された、理想的な沢であった。こんな山旅こそ、癒しの山に相応しいと思った。ただ、難をいえば、ヒルが多い。誰もやられなかったが、男性3人全員の体に、ヒルが付着していた。辺りはシカが多いので、これも関係しているのかも知れない。



快適に滝を越えていく



ロープは不要



唯一ロープを出した滝



源流部から上部は笹の原



竜ヶ岳に至る縦走路

← 頁岩(けつがん)の岩層 沢の形成岩には、めずらしい頁岩が見られた。コケは比較的少なく歩きやすい。



竜ヶ岳山頂



山頂の小さな仏様



421号線の通行止め